PTA活動紹介 ねっとわ～く 令和2年度

学校活性化のためのPTA活動

茨城県立坂東総合高等学校

本校は、昭和47年に「猿島農芸高等学校」として開校しました。園芸科2学級、農業土木科1学級、生活科1学級の単独農業高校で、その後、「猿島高等学校」に改称、平成21年度からの総合学科への改編に伴い、同24年度に「坂東総合高等学校」と改称しました。今年度、岩井高校との統合により、本校には現在2年次と3年次の生徒が在籍し、新設校の坂東清風高校農業科の1年生は、本校農場で週に一日実習を行っています。

本校PTAの特徴は、いろいろなPTAの行事に対し、役員（評議員）が大変協力的なことです。小規模な学校のため、学校の雰囲気は温かく、家庭的です。それは、評議員の数（約70名）が会員に対する割合で45％と高いため、評議員会を通じて、学校への理解が深まり、支部の運営や活動に反映され、PTA会員全体の意識の向上につながっていると考えられます。

これからも、次世代を生きる青少年の健全育成のため、PTA活動を通して会員相互に情報交換をしたり、各支部からのアドバイスを頂きながら、本部役員会や評議員会で検討して、今後のPTA活動に生かしていきたいと考えています。

文化祭「坂東秋祭り」豚汁の販売

文化祭「坂東秋祭り」卒業生による農産物の販売

文化祭「坂東秋祭り」草花苗の販売

親・子・学校をつなぐPTA活動

茨城県立多賀高等学校

本校は、昭和28年に地域の強い要望を受け誕生し、それ以来60余年の歴史と伝統を築き上げてきました。広大な校地等の恵まれた学習環境の下、校是「文武不岐」や校訓「最善を尽くして颯爽たれ」の精神に則り、「知・徳・体」のバランスのとれたたくましい「人間力」を備えた、地域を担う人材の育成を図ってまいりました。今では、2万名を超える卒業生の多くが県北地区で活躍しています。

本校のPTA組織は、各学年12名の評議員で構成され、2つの専門委員会（生徒指導と研修広報）及び学年委員会があります。生徒指導委員会では、先生方と共に、月1回登校指導を行い、生徒たちに声をかけ、登校の様子を見守っています。また、地域の夏祭りの巡回指導に参加しています。研修広報委員会では年2回、PTA広報誌を発行しています。最近は写真を多く取り入れて編集し、先日もクラスマッチに多くの委員が訪れ、生徒たちの活躍を写真に収めています。また、会員から希望を募り、PTA研修旅行として大学見学会を実施しています。昨年は学食が人気の東洋大学を見学しました。学年委員会では、年に1、2回学年研修会を企画、運営しています。講師を招いての進路講話や、コーヒー教室や卒業式用のコサージュづくりなど、各学年工夫を凝らした研修会を行っています。文化祭にも参加し、一昨年は駄菓子屋、喫茶店など、学年ごとに準備から当日の運営まで和気あいあいと活動しました。

今年度はコロナウイルス感染症が拡大しているため活動を縮小せざるを得ませんが、学校と協力し、生徒たちの成長を見守り続けるような活動をしていきたいと考えています。

大学見学会（令和元年度）

研修広報委員会

生徒指導委員会（登校指導）

明るく楽しいPTA活動

茨城県立取手松陽高等学校

本校は、昭和59年に利根川と小貝川のほとり、自然環境に恵まれた取手市小文間の地に「自律」「創造」「協和」の校訓のもと、普通科高校として開校しました。平成7年には、美術科、音楽科が加わり、芸術学科を併せ持つ特色ある学校です。今年で37年目を迎え、この間約1万名の卒業生を輩出し、県内外において、有為な人材として社会のさまざまな分野で活躍しています。

本校PTAは、本部役員、専門委員会（生徒指導・研修・広報）、支部（5支部）で構成され、それぞれが積極的にさまざまな企画を立て、明るく楽しく活動しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で思うような活動ができない状況となっています。例年6月の文化祭（松陽祭）では、PTA本部役員が模擬店を出店し、冷たい飲み物やおいしいお団子などを販売しています。8月には、研修委員会主催の校外研修（『劇団四季』演劇鑑賞会・昼食会）を実施しています。

10月・11月には、各支部主催の「支部研修会」を実施し、講師を招いてのソーセージ作りなどをとおして支部会員相互の親睦を深め合っています。12月には、子どもたちが通う学校を少しでもきれいにしようとのスローガンの下、保護者による「PTA奉仕作業」が行われています。

今後は、一日も早い新型コロナウイルス感染症の収束を願い、以前のように、明るく楽しいPTA活動ができればと考えています。

PTA 奉仕作業

PTA 校外研修

PTAの密な活動

茨城県立波崎高等学校

本校は、鹿島臨海工業地帯に隣接し、昭和39年に地域産業を担う人材育成を図るため開校しました。それ以来、心を同じくして共に力を合わせ、物事に当たるという『和衷協同』の校訓のもと、地域の伝統校としての地位を確立してまいりました。平成25年の創立50周年を機に『自主自律』を第二校訓と定め、「自ら学び、自ら考え、自ら行動する」という生きる力の育成に向けて取り組んでおります。現在、卒業生は1万4千7百人を超え、「規律正しい波高生」「就職に強い波高」として地域からも認められ、高い評価を得ております。

本校のPTA組織は、本部役員（顧問（前会長）・会長・副会長・生徒指導委員長・書記・会計・会計監査）と8つの支部の役員で構成されて、年4回開催する運営委員会において、主催行事や研修旅行の内容の検討、学校行事等への協力や生徒指導及び進路指導に関する情報交換等が行われます。

主な活動としては、祭礼等の巡視や立哨指導・「親子ふれあい事業」（親子で芸術を鑑賞し親しもう）・文化祭の模擬店（PTA会員に声をかけ親睦を図るために、自由参加とし協力する）・保護者間の親睦と研修を兼ねて芸術鑑賞や施設見学等を盛り込んだ視察研修旅行を行っております。文化祭では、毎回50名以上の会員が協力し、視察研修旅行でも募集定員を超える参加申し込みがあります。

また、保護者限定として、学校の情報や行事等の協力依頼などを、文書やメール等で情報を発信しています。また年に2回、7月と12月にPTA広報誌「まつかぜ」を発行し、PTAの活動を報告しています。

その他、新型コロナウイルス関連の情報や気象情報等についても、生徒・保護者へ学校メール（波メール）を通じて発信しています。これからも学校とPTAが密な協力関係を維持し、活動していきたいと考えております。

令和元年度親子ふれあい事業「芸術鑑賞会」

令和元年度PTA視察研修旅行（早稲田大学にて）

一体感のあるPTA活動

茨城県立佐和高等学校

本校は、昭和60年4月（本年度36年目）地域の要望と期待を受けて誕生しました。

校訓「君の心に聴け」は、生徒一人一人が自主・自立の精神を養うことを目的として制定されました。今年度は、学校の教育方針として、育てる生徒像に、「地域社会に貢献する心豊かな人間の育成」を掲げ、その一環として、校内Free Wi-Fiシステムを整備しました。誰でもどこでも自由にWi-Fiが利用できるようになり、授業では生徒個人のスマートフォン等を活用した新しい授業を展開しています。

さて、本校PTAは、本部役員会、学年委員会及び専門委員会で構成されています。本部役員会では、年3回「PTAふれあい講座」として、ソフトバレーボール大会（令和元年度は茨城国体に多くの生徒が補助員として参加したため中止）・料理教室・そば打ち講習会を開催しました。毎回多くの会員が参加し、好評でした。また、学年委員会では、学年ごとに進路講習会をメインに年2回ほど開催しました。さらに、専門委員会として、広報委員会では、広報誌を年2回発行。教養委員会では、研修旅行（浅草東洋館演芸鑑賞）を計画実施。生徒指導委員会では、佐和駅での立哨指導やさわやかマナーアップキャンペーン等を行うなど、それぞれ積極的に取り組みました。

これからも、地域や保護者との積極的な連携を図り、一体感のある学校づくりが実感できるよう活動していきたいと思います。

教養委員会　浅草演芸場

PTAふれあい講座　そば打ち講習会

2学年進路講演会